

公益社団法人日本技術士会 神奈川県支部  
創立10周年記念誌

10年の歩み～これからの10年に向けて



# 技術士プロフェッション宣言

われわれ技術士は、国家資格を有するプロフェッションにふさわしい者として、一人ひとりがここに定めた行動原則を守るとともに、公益社団法人日本技術士会に所属し、互いに協力して資質の保持・向上を図り、自律的な規範に従う。

これにより、社会からの信頼を高め、産業の健全な発展ならびに人々の幸せな生活の実現のために、貢献することを宣言する。

## 技術士の行動原則

- ① 高度な専門技術者にふさわしい知識と能力を持ち、技術進歩に応じてたえずこれを向上させ、自らの技術に対して責任を持つ。
- ② 顧客の業務内容、品質などに関する要求内容について、課せられた守秘義務を順守しつつ、業務に誠実に取り組み、顧客に対して責任を持つ。
- ③ 業務履行にあたりそれが社会や環境に与える影響を十分に考慮し、これに適切に対処し、人々の安全、福祉などの公益をそこなうことのないよう、社会に対して責任を持つ。

## プロフェッションの概要

- ① 教育と経験により培われた高度の専門知識及びその応用能力を持つ。
- ② 厳格な職業倫理を備える。
- ③ 広い視野で公益を確保する。
- ④ 職業資格を持ち、その職能を発揮できる専門職団体に所属する。





## ご挨拶

公益社団法人日本技術士会

神奈川県支部 支部長 松田 洋紀

公益社団法人日本技術士会神奈川県支部は、この度創立10周年を迎えることができました。神奈川県、各自治体、関係諸団体、県下企業、そして地域の皆さまの温かいご支援、ご鞭撻によるものと、心から感謝申し上げます。また、日本技術士会統括本部関係者の皆様には、当支部の運営についての指導・支援に対して改めて感謝致します。

日本技術士会は2011年4月11日に公益社団法人に認定され、神奈川県支部は同年9月15日に開設されました。当支部は1988年に発足した神奈川県技術士会を前身とし、支部設立後10年間にわたり、様々な活動を展開し、現在の支部会員数は1,900名を超えています。

前身の神奈川県技術士会で活動された技術士諸先輩の方々や、設立当時にご苦勞された技術士の方々に深く敬意を表します。

国内外の技術革新は目まぐるしく進化し、その使い方を誤れば取り返しのつかない影響を及ぼします。技術士会会員はテクノロジーを専門とする技術士として不断の継続研さん(CPD)に努め、それぞれ専門技術を活かした地域に密着した技術士活動により、地域社会に貢献し、地域社会の発展に寄与することが目的です。

DX(デジタルトランスフォーメーション)をはじめとするこれからの変化を先取りした新しい技術の導入、着実な生産性の向上などの面で、神奈川県、各自治体、関係諸団体が実施する県下企業への支援施策に技術の力で寄与したいと考えています。

日本技術士会は、昨年の創立70周年記念大会テーマとして「2030年SDGs達成に向けて技術士ができること——技術士の知恵を活かす——」を掲げました。SDGsの掲げる多くの目標に対して技術士の力を活かしていきたいと考えております。

当支部はこの先の10年に向かって、これまでの10年を凌駕し、技術士に課せられた役割を今一度再認識し、「技術士ができること——技術士の知恵を活かす——」そして地域社会に貢献し、地域社会の発展に寄与することを誓います。

関係者の皆さまには、引き続き、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。